

「青い空を見上げることができる自由」

後藤徹さんは、平成7（1995）年9月から12年5か月にわたり、都内のマンションなどに監禁され、連日、信仰を棄てるように強要されました。

食事制裁や「最も大切にしている」宗教の創設者への罵詈雑言、さらには暴力まで振るわれました。そこはまさに、“無法地帯”でした。

12年5か月ぶりに解放された後藤さんが、外で空を見上げた時の感想です。

「当時の私は、上を見て、青い空を見ることができる、その『自由』があることが、なんと貴重で、なんとありがたく、なんと素晴らしいことであるか。心の底から実感いたしました」

—後藤徹さんは世界平和統一家庭連合（旧統一教会）信者で、当会の代表です。